

# シヨクカイ相場情報2022.06

## 国内野菜

### 全般

#### 【根菜類】

##### ○大根

6月上旬は関東産の生産が終盤となり、引き合いが強まる見込みです。中旬になると北海道産・青森県産が増え、供給面・価格面共に落ち着く見込みです。

##### ○人参

各産地共に生育遅れが見られ、前年と比較して価格は高めで推移しています。

##### ○玉ねぎ

高温・雨天の多さにより西日本産の一部で病害が見られ、流通量は少なく、高値で推移しています。

#### 【葉茎菜類】

##### ○白菜

6月上旬、端境につき若干引き合いが強まる見込みです。

##### ○キャベツ

生産が遅れていた茨城県産が出回り、他産地も生育は順調です。価格は前年と比較して若干低めで推移しています。

##### ○ほうれん草

5月の天候不順により出荷が遅れていた分が5月末より出回りはじめ、潤沢な流通量となり、相場は下げ傾向です。

#### 【果菜類】

##### ○胡瓜

平年通り、梅雨入り後は流通量が減り価格は上昇する見込みです。

##### ○茄子

各産地共に生産は順調です。6月中旬以降、関東産への切り替わりと共に価格は上がる見込みです。

## 輸入野菜

### ほうれん草

現地在庫レベルは適正水準に戻つつあります。今後、原料価格も落ち着くだろうと期待は大きく、供給も安定する見込みです。

### 玉ねぎ

原料価格は落ち着くと思われたものの未だ高値で推移しています。山東省産の収穫が終了するまでは高値相場が維持される見込みです。冷凍玉葱は5月下旬から6月頃に加工が始まる予定です。

### にんにくの芽

収穫・加工は5月頭から始まり、早い産地は今週内でシーズン終了の予定です。今年は収穫量が10-20%減。気温の変化の大きい日が続き、短く細い原料が多く、既に生産量は30-40%の低下が現れてきており、減産の為、原料価格は高騰しています。

### アスパラ

新物アスパラの供給は全く見込めない状況です。昨年秋の大雨の影響で多くの産地が最大で3-4割減産との見通しで、更に主産地の山東省は低気温のため収穫が2週間ほど遅れています。他産地の河南省も新型コロナウイルスの影響を受けて物流が停滞し、原料が大幅に不足しています。現在、工場の在庫も少なく、価格は昨年より大幅に上昇しています。

### キノサヤ スナップピース

一部地域では低気温の影響により生育障害で収穫量が減少しているものの、収穫・加工は概ね平年並みに進んでいる様子です。今後は原料価格も落ち着きに向かうとの期待感が高まっています。

## 畜肉

### 鶏肉

主要産地であるタイ国内でのアフリカ豚熱発生に伴う豚肉高騰に伴い、豚肉の代替品としてタイ国内での鶏肉需要が堅調、相場高値で推移しています。更にヨーロッパ・中東等からの買付需要は高まっている状況です。輸入品の調達は今後の動向が予測しづらいですが、一定の需要は予想されています。外食需要の更なる回復に期待したいものの、国産品への切り替え等、需給バランスの見極めがポイントとなりそうです。今後は調達コストの問題はあるにせよ、価格は高止まりでの推移が予想されます。

### 豚肉

ウクライナ情勢を背景に穀物や原油価格が高騰する中、輸入品は厳しい調達環境が継続しています。欧州産も価格は上昇傾向となっています。アフリカ豚熱や豚流行性下痢等の疾病の影響で市場の集荷頭数が少なく、相場を押し上げている状況です。穀物価格や原油価格の高騰等による物流費の上昇、足元の物流不安を受けて高値相場は維持されていく見込みです。

### 牛肉

5月は例年、消費疲れて単価の高い牛肉の消費は低迷する時期ですが、元来は牛肉需要が活発となる春の行楽シーズンでもあります。今年は3年振りに行動制限のない大型連休となり、飲食店や地方の観光・商業施設を始めキャンプ場等多くの人出で賑わいを見せていました。とはいえ、末端消費の面では、焼肉店などの飲食店やアウトドアでのBBQ・イベント関係等一部以外は全般的に振るわなかった模様です。円安の進展、不安定な物流事情で粗利を確保することが難しくなっています。為替以外の部分を見ると、今後豪州では保留していた牛の出荷が見込まれる他、米国産の現地相場も全体的に前年に比べると安値で推移しています。夏場から秋口にかけてマーケットの回復に期待したいところです。

## 魚介

### 鮭鱒

#### 【鮭・鱒】

鮭原料は、漁獲量大幅減少を要因として、原料価格は高値価格帯での推移となっています。また製品の品薄状態が続いています。鱒に関しては、原料価格が値上がり傾向となり、現状、若干ではありますが製品価格に反映されています。

#### 【チリ銀鮭・トラウト】

チリ銀鮭原料は、原料品薄を要因として価格高騰に転じています。製品価格も同様に値上がり高値となっています。

### サバ

ノルウェー産・アイスランド産等の欧州サバは今期、原料買付価格の高騰となりました。現状、更に製品価格は値上がりしている状況となっています。また製品品薄状態も継続しています。

### タラ カレイ 赤魚

助宗タラ・白身カレイ（アブラカレイ）は原料価格の値上がり、為替変動、輸入諸経費のコスト増等を要因として、製品価格に反映され値上がりしています。

赤魚原料は高値推移に転じています。また同様に輸入コスト等の上昇の影響を受け、製品価格も値上がりとなっています。

※2022年5月末日現在の予測に基づいて作成しております。